

できること

2020.6.24

生徒の皆さんは、今まで働くことや仕事について学んできていることと思う。では、仕事にできそうな好きなことは見つまっているだろうか。そもそも自分は何が好きなのがわかっているだろうか。自分の好きなことや夢中になれることが見つかっていればいいが、多くの人がそうではないように思う。

できる仕事と好きな仕事は違うという話がある。洋服でも自分が好きなものと似合うものが違うことはないだろうか。それと同じように、仕事でもできることと好きなことが違うことがあるのではないか。

そうであれば、好きなことを探すのではなく、自分ができることを好きになる努力をしてはどうだろうか。「ピーターパン」の作者であるイギリスの劇作家ジェームス・マシュー・バリーが「幸福の秘訣は、自分がやりたいことをするのではなく、自分がやるべきことを好きになることだ」と言っている。

努力をせずに、私の好きなことはどこにあるのだろうかというのは、実は好きを探しているのではなくて楽を探していることになるかもしれない。社会は、そんなに甘くはないので、自分がやるべきことを好きになれるように勉強したり、自分に向いていると思うことを仕事にしたりしていくことがシンプルでいいのかもしれない。

自分が向いていることを探すためのいい方法が、子どもの頃に人から褒められたものに立ち返ることである。人は、それぞれに才能があり、それは同じ親から生まれた兄弟であっても違うものである。子どもの頃に、親や友達、先生から褒められたこと、頼りにされたこと、クラスで任されたことなどはないだろうか。

やはり、人はまわりから褒められると、それが自信になる。まわりとの気持ちが循環しないと、人は、これが好きとは認識しにくいものである。嫌いだったことも、あなたがやると違うなどと言われたら、好きになってしまうかもしれない。

社会は効率で動いているので、適材適所で仕事をするのがよいのだろう。そこで能力を発揮すれば、評価されて収入にもつながり、職場での居心地もよくなっていく。

まずは、自分が動いたことで喜んでもらった経験に立ち返って、それを書き出してみる。そうすると、私はこれをしているときに心地いいんだ、これが周りに求められていることなんだというものが見えてくる。

3年生の皆さんの中で就職を考えている人は、毎日毎日いろいろなことを考えているだろう。すでに方向性が定まっておらず迷いが無い人もいるだろう。一方、自分のやりたいことが見つからない、わからないという人もいるだろう。

自分にできることは何だろうか。時間はまだまだある。考えが堂々巡りの状態になっている人は、ちょっと視点を変えてみてはどうだろうか。意外とよい方向に向かうかもしれない。今まで考え悩んできた時間は決して無駄ではない。